

# 地域スポーツ調査結果の分析から



一、スポーツの必要性について  
 七〇・四％の人が現在の生活の中でスポーツを行なうことが必要であると答えている。これを年代別にみると、二十代が八四・八％と一番高く又実践もしているが、年令が高くなるにつれて必要意識が低くなっており、実践面についても非常に消極的である。

二、スポーツの愛好度について  
 昨年度にくらべ本年度は全体で一〇％近くが増えており、全体の八三・九％の人がスポーツ愛好者である。その内で四九・六％と約半数の人が「自分で行なうのが好き」という積極的愛好者である。

しかしスポーツへの参加希望についてみると「参加したい」と答えている人が三三・二％（昨年三二・二％）と低くクラブやグループへの加入実態についてみると一〇・一％（昨年九・二％）と更に低くなっている。この結果、意識としてはスポーツに取り組みたいが実際に活動するとなると仲々おっくうである人がほとんどのようである。

## 三、スポーツ活動の実践

日常スポーツを行なっている層は三三・二％（ほとんど毎日行なっている層八・六％、ときどき行なっている層二四・六％）で昨年（二三・二％）に比べてきてきている。健康・体力への関心度

全体の四三・六％（昨年三四・六％）の人がなんらかの形で関心を持っており、日常生活の中で健康・体力づくりに取組んでいる。これを項目別にみると、男子では「スポーツを行なう」（三三・五％）が一番高く、女子では「栄養や食事に気をつける」（三一・三％）に感心が高い。

## 五、スポーツ活動の不便さ

全体で四二・五％の人がスポーツを行なう際に何らかの形で「不便さを感じている」と答えておりその理由としては「場所や施設が



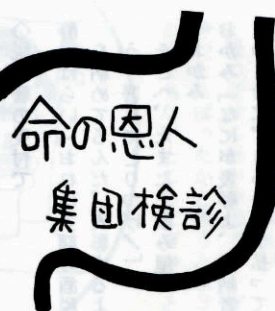
ない」（三八・〇％）が一番多く全体の三分の一以上を占めている。又注目すべき点は、「仲間がいない」と答えている人が以外に多く（二〇・一％）スポーツは行ないたいが一人で行なうことはむずかしく、多くの人がスポーツを行なう仲間を求めている。

## 六、将来やりたいスポーツは

全体ではソフトボールが一七・六％（昨年は一六・一％）で二位を占め、次いでテニスが一五・二

％（昨年は一一・三％）バレーボールが一三・五％（昨年は一七・〇％）卓球が一・九％（昨年一〇・八％）バドミントンが一・九％（昨年九・六％）となっており男女別にみると、男子ではソフトボールに次いで歩く走ろう運動が一六・一％と第二位を占めている。又女子ではバレーボール、卓球、バドミントン、テニスとなっており、バレーボール型、テニス型のスポーツ志向となっており男子は屋外型スポーツ、女子は屋内型スポーツと言える。

七、生活の中のスポーツの時間帯・場所について  
 スポーツの時間帯については、活動場所、時間帯ともに決った場所、時間に行なう人は少なく、ほとんどの人が「別に決っていない」と答えている。これを男女別にみると男子よりも女子の方が定期的な活動を行なっている人が多く、継続的なスポーツ活動を実践していると思われる。次に主に利用したスポーツ活動の場所は男子では町民グラウンドが圧倒的に多く、女子は明倫小学校屋内体育館及び上地区農業者健康管理センターが多い、この結果からも男子は屋外型のスポーツ、女子は屋内型のスポーツ志向といえる。又時間帯についてみると男子では夕方、勤めの休み時間が多く、女子では夜間が多くなっている。



## 命の恩人 集団検診

昭和五十三年三隅町で死亡した人が65人で、その内の10人は癌で死亡しています。癌の中でも一番多いのが胃癌です。医学の進歩した現在胃癌又は婦人癌で死ぬ者は医学の恩恵にあずかっていなく損だと言われている。胃癌も早く発見しないと現在医学の力でも及ばないのです。さあ、少しでも早く発見するために胃癌検診を受けましょう。ここに検診を受けて一命を取り止め元気に働いておられる方の町民へ対する、心からの訴え、をご紹介します。

話し手  
 辻並 山中武徳さん（七十二歳）  
 聞き手：山中さんあなたは、胃癌検診を受けたお陰で今元気に暮らしている、とお聞きしたのでありますが……実は町内で胃癌による死亡率は高いのに検診を受ける人が少ないのです。そのあたりの事をお聞かせ下さい。

山中さん：検診を受ける人が少ないのですか……もったいないですな。是非受けるべきです。よく自覚症がないから受けないと言いますが、私の場合も特別あったわけではなく何となく、あげる、様な症状があり、一年間は胃薬を時々飲むことにより治っていました。が2年目にかかりつけの先生より胃癌検診を受けると言われ受けました。すると精密検査の呼び出しがあり癌とわかり医大で昭和42年に手術しました。

聞き手：受ける時や、又精密検査の通知がきた時恐くありませんでしたか。家族の方はどう言われましたか。  
 山中さん：いえ、全然恐くはなさちんとした検査をしてもらえるのだなーと思いましたが、家内や子供もよく見てもらうように言ってくれました。精密検査の結果胃癌とわかり初期だったので医者もはつきり言ってくれました。私も家族も早かったので手術したら治るんだという気持ちであまり痛でも不安に思いませんでした。今思えば検診をすすめてくれた人は命の恩人です。検診を受けるのがこわいとは以ての外で、検診を受けないと言ふことの方が本当にこわい事です。

どうもありがとうございました

